

てもらいました。

感想を一言で言うと「めっちゃくちゃ楽しかった！」みんな快活で明るく、怖いもの知らずなので何でも意見を言う。あっているものもあれば外れているものもある。本当の会議ってそうあるべきですね。

その後、皆と給食も食べました。噂には聞いていましたが、美味しい。普通に美味しい。何で未だに病院食がまずいといわれるのか分からないくらい普通に美味しかったです。

今回、2組で授業をしましたが、それぞれキャラクターが全然違う雰囲気でした。何となく担任の先生のキャラがかぶっているような…もちろん、いじめの問題やPTAの活動、その他多くの雑用があり、小学校の先生が大変という話は聞きますが、明るく元気な小学生と一緒にいれる職

場って素晴らしいなあと思いました。ただ、僕はなれていないので…児童たちのはしゃぐ声が半日耳鳴りのように続いていました。

歯の側枝

先日、ある文献を読んでいて本当にびびくりしました。歯の中に神経が通っていることは皆さんも知っていますね。どうしても仕方ない時には「神経を取る」という作業をします。前歯のような歯は、根の中に1本、奥歯では2〜4本の管があり、その中に神経があります。その管の長さは、歯の根の長さより少し長いので2センチ弱。全長あわせても数センチから数十センチ…というのが常識です。ただ、そこに側枝というものがある

ことも知られています。レントゲン



などにも映らない細かい支流のことです。それらの累計が多いものでは5キロにも及ぶという文献だったので

例えば、川で言うと、本流は5キロぐらい、そこに支流がたくさんあるので全部で1万キロになるとい感じですが。たぶん普通の歯医者者の感覚から言えば数本から数十本の側枝があるだろうと思っていますがそんな数ではないということです。もちろん、そのような側枝の神経を全部きれいに取るなんてことはできません。やはり、神経は不用意に抜かないようにしましょう。